

留萌 ゆめみらい物語

#10 菊地 泰之さん



留萌市地域おこし協力隊
元隊員

きくち やすゆき
菊地 泰之 さん



▲来春に向け、ハウスの骨組みを立てる菊地さん

花き農家として就農

市内でトルコギキョウ栽培

平成27年1月から留萌市地域おこし協力隊の隊員として活動してきた菊地泰之さんは、今年3月の任期終了後すぐに市内で花き農家として就農しました。現在は、市内の花き農家から土地を借りてトルコギキョウを栽培しています。

総務省が推進する「地域おこし協力隊」は、都市部の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の充実や強化を図る取り組みです。市では、平成22年から留萌市地域おこし協力隊の隊員を募集し、これまでに13人を委嘱しました。菊地さんは「留萌の冬は雪深

く、移住した当時は、降雪の多さに驚きました。花き農家になることを目指し、これまで活動してきたので、目標を達成することができ、まずはほっとしています」と振り返ります。

花き農家の魅力について「栽培した花を収穫するときに喜びを感じます。地域おこし協力隊の隊員になる前、私は花に関わるさまざまな仕事に携わってききました。花き農家は、花との関わり方がもっとも深く、一番近くで花の成長を感じることができるので、毎日充実しています」と語ってくれました。今後の目標について「今は農

地を借りて花の栽培を行っていますが、もっと経験を積み、いずれは独立したいと考えています。花づくりの知識をさらに深め、トルコギキョウ以外の花にも挑戦したいですね」と笑顔を見せてくれました。

「留萌で栽培されている花の知名度はまだ低いので、全国の方にもっと知ってもらいながら、マチの活性化につなげていきたいですね。活気あるまちづくりにも貢献できるよ」と話してくれました。

留萌市地域おこし協力隊の活動などについては、左記へお問い合わせください。

問 市・政策調整課
☎ 42-1809